

CVR-Rとは

心拍数は、自律神経の働きによって調節されています。安静にしている時と深呼吸を行った時では自律神経の調節機能により、心拍数が変動します。この心拍数の変動の程度を調べることで、自律神経の状態を調べることができます。心電図波形のR波の間隔を用いて、その変動係数(CV)を求めて評価することから、CVR-Rと呼ばれています。



CVR-RのあれこれQ&A よくある質問にお答えします

Q：10分間安静にしている時に検査中眠ってもいいですか？

A：起きている時と眠っている時では、自律神経の調節が異なるため、検査中は眠らないようにしてください。また体を動かしてしまうと検査をもう一度はじめから行うことがあります。お手洗いは検査前に済ませておいてください。安静中は担当技師が何度か様子を伺いますので、何かありましたらお知らせください。

Q：検査前の食事制限などはありますか？

A：検査前2時間以内の食事、運動、入浴は避けていただきます。

Q：この検査で何がわかりますか？

A：心拍数は自律神経の調節によって変動しますが、糖尿病や起立性調節障害などにより自律神経の調節機能が弱くなると、心拍数が変動しにくくなります。安静状態と深呼吸状態の心拍数の変動を記録することで、自律神経の調節機能が弱くなっていないか、またその程度を評価することができます。

検査方法

ベッド上で仰臥位になり安静時12誘導心電図を記録します。その後、安静条件で検査を行うために10分間ベッド上で仰臥位のまま、動かず安静状態を保っていただきます。その後心電図を記録し、R波を用いて心拍数の変動を調べます。次に、担当者の声かけに合わせて深呼吸をしていただきながら、同様に心拍数の変動を調べます。検査は全体で20分～30分かかります。安静が保てない場合は、自律神経を検査に適切な条件に整えることが出来なくなります。また不整脈が頻繁に出現する場合も、正確な心拍数の変動を調べることが出来ません。このような場合は、検査を行うかどうか依頼医に相談させていただく場合があります。

